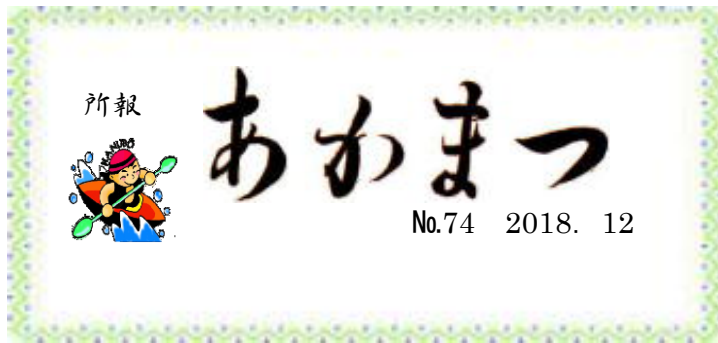




新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙字大日裏

☎ 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

「初めて」を大切に

所長 丹後 裕

私事ですが、今夏初めてトレイルランニング（以下、トレランと省略）を体験しました。トレランとは、マラソンと登山の両方の楽しさをミックスした山野を走る中長距離走のことです。100km 以上の長さを複数日かけて走るトレランもあれば、数十分で完走できる距離のトレランもあります。私が出場したレースは4 km 弱のとても短いものでした。インターネットで得たトレランに関する知識を頼りにレースに参加しましたが、準備不足でスタート前はかなり緊張しました。レースが始まると、コース途中の山登りで息も絶え絶えになり、歩くだけで精一杯の時間帯がありました。沿道の声援は通常のマラソン大会と比べて少なく（山道が多いので当然ですが）、少し寂しい思いを抱きながらの初トレランでした。何とかゴールにたどり着いたときに思ったことは「やったぞ、完走できた！ 苦しかったけど、楽しかった！ 満足した！」でした。

しばらく感じたことのなかった“やり切った感”を得ることができた理由は何か、自分なりに考えてみました。その理由は「初めて」にあるのだと納得しました。完走は可能だと思っていましたが、未知のことに挑戦する期待感や不安感がそれなりにあり、そうした中で「初めて」をクリアした喜びが“やり切った感”につながったのでしょうか。

当所の利用者の中には、キャンプファイアを体験して、初めて大きく炎が燃え上がる様子を実際に見る人がいます。私と同じように「初めて」に驚き、不安感や満足感などを抱くのだらうと思います。「初めて」のカヌー、「初めて」の野外炊さん、「初めて」のテント泊など、同じように「初めて」のことをやり遂げることで、利用者の皆さんは大きな達成感や満足感を得ることも多いのではないのでしょうか。

新施設の建築工事は順調に進み、来春4月から供用開始の予定です。初めての建て替え、初めての引っ越し、新施設での初めての団体受け入れや主催事業など、初めてのことに對して不安感や期待感を抱きながら、職員みんなが悩み、協力し合って新施設での業務開始に向けて準備を進めています。大変な作業が多いのは事実ですが、「初めて」のことなのだから当然であり、それをやり切って新施設の運営をスタートすることができた時には、全職員が大きな達成感を共有できるものと確信しています。「全ては利用者の皆様のために」を合い言葉に、新施設のスタートに向けて、着実に業務を推進していきたいと考えています。



上半期主催事業の様子

<利用団体引率指導者研修会>



6月から9月までの利用団体引率者を対象にした研修会です。この研修会の主な目的は『①当日の活動がスムーズに行えるようにすること ②事前指導が効果的に行えるようにすること ③利用日における団体間の活動時間や場所等を調整すること』です。

☆【参加者の声】☆

「当日一緒になる方々と有意義な話合いができました。」

「以前も来ましたが、新たな注意事項など、細かい点も具体的に説明・実演していただき、大変勉強になりました。当日はスムーズに活動できそうです。」

<はつらつ体験塾>

不登校・不登校傾向にある児童生徒の自立を支援するために実施しているキャンプ。大学生のボランティアや看護師と一緒に、県下三会場（胎内、五頭、妙高）でこれまで8回行いました。マイスプーン作り、クッキング、キャンプファイア、馬との触れ合い体験、ジャガイモ掘り、沢登り、うどん打ち、源流体験、そば打ち、登山等を体験しました。

☆【参加者の声】☆

「初めての参加でとても不安だったけれど、いろいろな人とかかわることができたり、いろいろな体験ができたので、よかったです。」

「初めて自分から仲間にあいさつができるようになった。同じ部屋の人と仲良くなれたと思う。」

「学生ボランティアのみなさんが、笑顔で優しく接してくれたので、緊張せずに、何でも楽しく活動できました。」

「学生ボランティアや、他の参加者がとてもフレンドリーで、会話の進め方や、他の人との仲良くなる方法が分かってとてもすばらしいキャンプでした。」



<ハートフルドリームキャンプ>



一人親家庭を対象としたキャンプ。4月と10月に開催。4月は焼杉板作り、グラウンドゴルフ、マシュマロ焼き、イチゴ狩り、10月は釣り体験、貝殻写真立て作り、絵本の読み聞かせ等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「焼杉板は焼き加減を調整しながら自分の好みで作ることができ楽しくできた。」

「いつも、あっという間に終わってしまいます。楽しかったです。」

「初めての釣りを体験した。実際に魚を釣ることができてとてもうれしかった。」

<学校支援ボランティア研修>

6月9日（土） 施設利用当日の支援に役立ててもらおうと、学校支援ボランティアとして活躍されている方や自然体験教室の引率者を対象にした研修会を行いました。児童と同じようにアウトドアクッキングやカヌーを体験しました。

☆【参加者の声】☆

「利用団体引率指導者研修会だけでは不安でした。細かなところ（キャンプファイアの組み方、カレー作りなど）は実際にやってみないとイメージがわかず心配でしたが、この研修に参加して見通しがもてました。」



<チャレンジわんぱく>

小学校4・5・6年生を対象に、1泊2日で年3回（7月・10月・1月）行います。自然体験や共同生活を通して、豊かな心とたくましい身体を育てることをねらいとしています。これまで、カヌー、肝試し、テント泊体験、アウトドアクッキング、キャンプファイア、登山等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「初めて参加して、友達ができてうれしかった。班長としてまとめたり、指示したりするのが難しかった。協力することの大切さを学んだ。」

「カヌーは以前に体験したときにうまくできなくてリベンジしたかった。上手にできるようになりよかった。」

「クッキングは協力し合いおいしいものが作れた。登山は最後まで登り切れてよかった。次回のスキーも楽しみ。」



<家族でカヌーに親しもう>



8月10日（金）11日（土）県内各地から参加した親子が、胎内川でカヌーを楽しみ、親子の絆を深めました。

☆【参加者の声】☆

「子どもと一緒に自然に触れ合うことができ、楽しかったです。」

「風の気持ちよさ！スピード！爽快感！子どもが『ゲームより楽しい』と言っていました。」

「漕ぐことも楽しかったが、魚が水面をビュンビュン跳んですごかった！」

<自然・ふれあい！家族のつどい>



親子を対象に、さまざまな体験活動を通して、親子の触れ合いや他家族との交流を深めることにより、豊かな情操や社会性を育てることをねらいとしています。夏と冬、年3回行います。夏は野外クッキング、キャンプファイア、壁飾り、フォトオリエンテーリング等を行いました。

☆【参加者の声】☆

「親も子ども楽しむことができ、他の家族とも交流することができた。また、職員の皆さんの目が行き届いており、気持ちよく参加することができた。」

「アウトドアクッキングでは、子どもたちが雨にも負けず意欲的に活動していたので感心しました。」

「カレーはもちろん、ベーコンのホイル包み焼きもとてもおいしかったです。」

「雨天によりキャンプファイアができなくて残念でしたが、キャンドルファイアも楽しかったです。」

「活動の後片付けは、参加者も行うようにした方が、子どもの教育になると思う。」

<自然の家で防災キャンプ>



9月22日（土）23日（日）防災キャンプを行いました。今年は、1日目に救助艇乗船体験、新潟地震ビデオ鑑賞、テント泊体験を、2日目にNPO法人ふるさと未来創造堂の中野雅嗣様による「洪水災害について」の御講演と演習を行いました。写真は、手作りの雨がっぱが実際に濡れないか実験しているところです。

☆【参加者の声】☆

「命を守るためにどうすべきか、きちんと考えるよい機会となりました。実際に体験してわかったこともあり、よかったです。」

利用者の皆様の声

<小学生>

私が一番学んだことは人と話し合う力です。一人で悩まず、人に聞いたり、相談することは大切だと思いました。

<小学生>

野外炊さんが心に残っています。左手をピーラーで切ってしまい、右手を包丁で切ってしまいました。でも、おいしいカレーができてよかったです。

<小学生>

カレーの作り方、カヌーのこぎ方、布団の片付け方、いろいろ教えてくださいありがとうございました。来年の5年生もよろしくお願いします。

<小学生引率者>

雨天のため CF から cf に変更したが CF よりも落ち着いた雰囲気で行うことができました。cf は、なかなかできない活動なので子どもたちも感動していた。

<子ども会代表>

うどん打ちでは、いろいろと相談にのってくれて、とても助かりました。やさしく手順を教えてください、ありがとうございました。自分たちで作って食べる体験ができてとてもよかったです。

<子ども会代表>

米粉ビザづくりの工程をわかりやすく説明していただき、低学年の子どもでも興味をもって取り組むことができた。ビザ作りを通じて親子や近所の親睦を深めることができた。

CF: キャンプファイア cf: キャンドルファイア

冬期間の御利用もおすすめです!!

10月～5月の御利用については、夜間活動（キャンドルファイアなど）を除くプログラムにおいて、自然の家所員が直接指導を行います。地域の子ども会やPTA、社会福祉施設、自治会等のちょっとした活動に、ぜひ少年自然の家を御利用ください。要望があれば所員が出向いて、レクリエーション等も行います。平成30年度は4月から12月まで、室内クッキングは20団体以上、出前レクリエーションは5団体以上が行いました。どうぞ、遠慮なくお声がけください。お申込みをお待ちしています。

平成31年4月リニューアルオープン!!

研修や合宿などにも御利用いただけます。受付を随時行っています。お問合せください。

主な屋内施設

宿泊棟 2F

- 宿泊室(8人用)16室〔各室2段ベッド4台〕
- 宿泊室(20人用)1室〔36畳程度〕
- 講師室2室〔各室8畳〕

宿泊棟 1F

- 宿泊室(8人用)16室〔各室2段ベッド4台〕
- 宿泊室(20人用)1室〔36畳程度〕
- 講師室2室〔各室8畳〕
- 多機能宿泊室(2人用)1室〔ベッド2台(バス・トイレ付)〕

浴室棟 屋上

- 星空テラス

浴室棟 1F

- 男性浴室〔大・小浴室あり〕
- 女性浴室〔大・小浴室あり〕

体育館棟〔面積645㎡〕
以下の球技に対応できます。

- ・バスケットボール 1面
- ・バレーボール 1面
- ・バドミントン 3面
- ・軟式テニス 1面

※更衣室、シャワー室あり

正面玄関

食堂棟 2F

- 工作室〔面積94㎡〕
- 和室研修室〔18畳〕

食堂棟 1F

- 食堂 186席

管理棟 2F

- 大研修室〔面積270㎡ 収容200人程度〕
- 中研修室(兼小研修室×3室)〔面積185㎡ 収容150人程度〕

管理棟 1F

- 事務室、静養室 など

多目的ホール棟〔面積332㎡〕

レクリエーションや軽運動のほか、様々な活動にご利用いただけます。

野外活動支援棟 2F

- 研修室〔面積65㎡×2室〕

野外活動支援棟 1F

- フリースペース
- 野外用トイレ

主な屋内施設

野外炊さん場

炊事場リニューアル
かま場増設
(24基→36基)

キャンプ場 (6月～10月)

常設テント(10人用)5張
ドームテント(6人用)20張

その他施設

営火場2カ所
アスレチック遊具5基
カヌー場 など